



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第361号 (2022年9月)



長かった夏休みが終わりました。この夏は、酷暑といわれて連日暑い日が続いたり、猛烈な雨が降り続いたり記憶に残りそうな夏でした。いよいよ2学期。たくさんあった課題は全て片付きましたか。3年生はいよいよ就職試験です。また佐工祭もあります。学習も部活動も行事も一生懸命取り組み、充実した2学期にしましょう。

溶接技術競技大会 佐賀県大会 個人・団体優勝

6月18日(土)に開催された第7回高校生溶接技術競技大会佐賀県大会の結果が7月25日に発表され、8月10日に表彰式が行われました。本校からは機械科学部の4名が出場し、中島三稀さん(機械科3年・三瀬中)が300点満点の292点という高得点で個人優勝を果たし、松石怜士さん(機械システム科・三瀬中)が283点で3位となりました。5位に高森あゆみさん(276点・機械科・川副中)、7位に篠原康一郎さん(271点・機械科・富士中)と、佐工の選手はすべて上位に入る大健闘でした。上位3人の平均点で競う団体の部では、この全員の好成績を反映して2位校に30点もの大差をつける284点で優勝しました。

顧問の八幡龍二先生はこの溶接に取り組む部員達について、「本当によく練習します。自主的に生徒同士でいいところ、悪いところを指摘し合っています。昨年出場した2人は、その時の経験が生きていました。皆実力が拮抗しており、細かい点差は、その日の調子如何によります。団体に2名女子が入るのは珍しいですが、二人とも運棒の動かし方がきめ細かく丁寧ですね。」とおっしゃっていました。

佐工の溶接チームは2年生2人、3年生2人、計4人のメンバーに大会の感想などを尋ねました。

高森さん(左)「尊敬する先輩達と九州大会に出られて嬉しいし、誇らしいです。溶接は自分のやり方次第で質が変わってきます。悪いところを一つ一つ解決していくのは、研究しているみたいでおもしろいです。」



中島さん(中)「自分が先輩らにしてもらったように2年生に教えています。去年は結構焦っていて、緊張の跡が作品にも出ていましたが、今年は落ち着いてできました。上手くできたときの状態を頭に入れ、そのときの感覚を意識してやっています。九州大会では練習の成果を出したいです。」

松石さん(右)「去年は点数の高いところで、そこはいつもなら失敗しないところなのですが、失敗してしまいました。でも今年は落ち着いてできました。やっているときに、音で裏側が上手くできていることがわかりました。先輩に教えてもらったように、始める前に大きく深呼吸をして、心を落ち着けて臨んでいます。毎回同じことをしようとしてもできないけれど、うまくいったときには達成感があり、溶接はおもしろいなと思います。」



篠原さん

篠原さん「先輩に改善点をアドバイスしてもらったりして少しずつ良くなっていますが、大会は緊張で手が震えます。焦らず、乱れなく、慎重に行えるよう努めています。」

さて、その九州大会ですが、8月18日にすでに行われています。今年の開催地は大分県でしたが、昨年同様、九州各県の会場をリモートでつないでの実施となり、佐賀県の会場は本校からほど近いところにある工業技術センターでした。この大会の結果が出るのは9月下旬頃です。楽しみに待ちましょう。



インターンシップ（2年）

7月6日（水）から8日（金）はインターンシップが行われ、2年生諸君は県内のさまざまな企業・事業所にお世話になりました。中学生の頃の職場体験からレベルアップした内容の研修によって、今後の進路選択が我が身に迫る現実であると感じられ、仕事について真剣に考える機会となったのではないのでしょうか。諸君の感想を一部紹介します。



◆県立図書館は書架に置いてある本の数よりも書庫にある本の方が多く、第1、第2、第3、特別書庫とあり、そしてそれぞれの書庫に1層、2層、3層とあり、圧巻という言葉がしっくりくるような所でした。(I・今村天哉さん) ◆現場には1人1人役割が違う人が集まる場合があり、コミュニケーションを取れないと事故に繋がり、効率も悪いので、仕事をする上でコミュニケーションは必ずいるものだと感じました。(I・末次琢真さん) ◆話をするたびに周りの人と馴染んでいき、楽しいと思ってしまう。しかし、作業はとても難しく、分っていると思ってもミスをしてしまいました。(I・仁井友一さん) ◆仕事場の人たちはとてもハキハキしており、笑顔で接していました。そして、身だしなみもしっかりしており、誰一人乱れている人はいませんでした。学校生活で活かせることがたくさんありました。(I・古川和奏さん) ◆仕事の大変さを知ることができました。3日間だけでもキツク感じるのだから1年や10年するとするとすごいだろうなと思いました。難しいかもしれないけれど、仕事を探すときには1年後、5年後、30年後などを想像しないといけない気がしました。(I・松島里奈さん) ◆終礼ではその日の反省やその反省を踏まえて次の日どのように改善するかを話し合っており、自分も一日の終わりに、その日の反省をし、改善できるように心がけようと思った。(A・島壮児郎さん)

◆このインターンシップで強く感じたのは、仕事は難しく大変だということです。行く前に抱いていた感じよりも遥かに難しく、このような仕事を毎日している会社の皆さんはとてすごいと尊敬します。(A・陣内鉄平さん) ◆営業の方は、専門的知識だけではなく、幅広い知識、雑学が必要で、自分の話をする事で信頼が高まり、契約が決まりやすくなると教えてもらいました。(A・高橋幸美さん) ◆設計は空間を想像しないとまずできないなと感じました。道路の向き、位置から駐車場を決めて、そこからのゾーンを考えるのがとても難しかったです。条件が難しいと考えるのにとて時間がかかりました。それをささっと決めていた設計担当の方はとてもすごかったです。(A・谷山三菜子さん) ◆今回、何がきつかったかと聞かれたら、「コンクリート作り」と答えるだろう。1回でも疲れるのに、それを4回繰り返してかなり疲れた。でも終わった後のお客さんからの「ありがとう」がとても嬉しかった。自分のインターンシップに点数をつけるなら「100点」だと思う。(A・中島晟樹さん) ◆設計事務所は打ち合わせが多いと聞き、コミュニケーション能力が必要になると感じました。特に、依頼された方の意見を取り入れながら、法律上良いか悪いかを相談しながら決めなければならないことを知り、意見を聞くばかりではいけないと思いました。(A・松尾弥奈さん)

◆現場の方々は、自分たちの分からないことや質問したことに丁寧に答えてくれたり、隙間時間があるときは面白い話をしてくれたりとても楽しかったです。職場の人たちは皆和気藹々としており、将来就職するならばこんな場所がいいなと思いました。

(E・江崎隼汰さん) ◆一番心に残っていることは電線を切らせてもらったことです。学校で使う電線とは全く違ってとても硬かったです。コツを教えてくださいましたら切れたのでとても嬉しかったです。そして、そんな硬い電線をスパスパ切って仕事をしている人達のすごさを改めて感じました。(E・宮島武冨

職場の皆さんに温かく接してもらって嬉しかったという感想が大変多くありました。いろいろ話しかけて諸君の緊張をほぐし、良い研修になるように心を配ってくださった職場の方々、ほんとうにありがとうございます。きっと数年後には諸君が研修にやってくる高校生に、かつて自分がしてもらって嬉しかったことをしてあげていることでしょう。

さん) ◆まだまだ自分が未熟だということが身に染みてわかったので、これから将来に向けてがんばっていきます。(E・久地井煌さん) ◆仕事をしている人はどこか楽しそうに見えました。とてもきついんだろうけれど、やりたくなさそうな雰囲気は全くなく、それよりも笑っているところの方が多く見えました。私は、仕事は任された仕事を黙々とやっていただけで、全く楽しくないんだろうなと思っていたので、仕事への印象が変わりました。(K・石丸功河さん)



生徒会長選挙 次期会長が決まりました

7月12日(火)に予定されていた生徒会長選挙は、コロナウィルス感染により閉鎖された学級が出たため延期され、夏休み中の登校日、8月3日(水)に行われました。多目的室での演説が各教室に実況配信され、そのまま教室で記入、各階廊下で投票というかたちでの実施となりました。候補者は届け出順に、機械科・中尾杏平さん、電子科・野口諒太郎さん、電気科・中野孝浩さん、建築科・高橋幸美さん、機械システム科・松尾将弥さん、情報システム科・大島快斗さんの6名。選挙管理委員により即日開票作業が行われ、その結果、松尾将弥さん(成章中)が最多票を獲得し、次期生徒会長に当選しました。今後は生徒会役員の募集があります。意欲のある人は振るって応募してください。



表彰

M: 機械科 K: 機械システム科 E: 電気科 C: 電子科 I: 情報システム科 A: 建築科

◆ 天皇杯全日本バレーボール選手権大会佐賀大会
3位

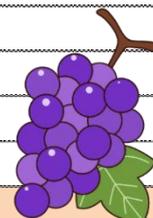
◆ 令和4年度佐賀県高等学校文芸・図書専門部 夏季大会

俳句部門	二席	野口 桂生	(M3・城北中)
俳句部門	五席	岸川 蓮	(E3・小城中)
俳句部門	五席	中島 弘道	(E1・東脊振中)

◆ 令和4年度 全九州高等学校体育大会飛込競技
男子3m飛板飛込 3位 村岡 尚哉 (A1・大和中)

9 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定
1	木	始業式 英検IBA
2	金	火曜校時 3年生面接指導(～9/15)
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	インターンシップ報告会(2年)
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	ディテスト(1年)、職業適性検査(2年)、就職試験激励会(3年)
14	水	スクールカウンセラー来校日
15	木	
16	金	就職試験開始
17	土	
18	日	市町職員採用試験(教室棟・定時制棟)
19	月	敬老の日
20	火	体育祭選手決め
21	水	
22	木	
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	主権者教育講演会
28	水	スクールカウンセラー来校日
29	木	
30	金	



佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 高校時代に生徒会なんてあったっけ？勉強・部活・読書の3拍子生活を送っていた私には、選挙の記憶が全くありません。「絶対あったはず！」と、I先生は断言しますが、ほんとかな？と実はずっと半信半疑でした。でも最近、片付け物をしているときに出てきたアルバムを開いてみて発見。生徒会役員の集合写真がある！…あったんだ。へえ、私の知らないところでちゃんとあったんだ。どんな活動をしていただろう…？ちなみにI先生は、スカウトされて役員をしていたそうです。 K